

授業科目 アメリカ文化研究演習Ⅱ	単位 2単位
授業担当者	授業期間 休講
授業の題目と概要 「ラテンアメリカにおける史料調査」 ラテンアメリカの歴史研究を志す大学院生に、歴史学的方法論の中核に位置する史料の利用法を手ほどきする。	
授業の内容と計画 内容：ラテンアメリカの歴史を研究するうえで、図書館・文書館に保管されている未刊の史料は欠くべからざるリソースである。にもかかわらず、日本の研究者でこのリソースを使いこなしている者は少ない。多くの者は既刊文献に依存しており、そのことが、オリジナリティの欠如と概説的研究の過多を招いている。 本演習では、ラテンアメリカの歴史研究を志す大学院生に、歴史学的方法論の中核に位置する史料の利用法を手ほどきする。なぜ未刊の文献を参照することが重要なのか、文献の所在をどのように突き止めるのか、図書館・文書館を利用する上での注意点はなにか、可能な複写形態はなにか、集めた文献をどのように整理すればいいのか、文献からなにを読みとるべきか、などについて説明する。 計画：担当教員の研究室において、史料のいくつかを実際に参照しながら講述を進める。授業の日時に関しては、学生と相談して決定する。なお、受講にはスペイン語の知識が必要である。	
使用する参考書、参考論文等 授業中、必要に応じて指定する。	
成績評価基準 授業への出席率（50%）と史料講読の課題の出来（50%）により評価する。	
その他の留意事項	